

洲本地区ニュース

平成14年12月5日
洋友会 洲本地区

今回の主な内容

- ・ 洲本地区総会日程内定
- ・ 各クラブ活動内容

No. 11

クラブ活動連絡板

☆ ウォーキングクラブ

1月上旬に先山に登ります
(子細決定しだい連絡)

☆ パソコン教室

12月19日 開講日で～す
来年はエクセル関数に
挑戦します。
新入会員大歓迎！

時のたつのは、早いものでもう師走の月となりました。ひとさめ毎に寒さも厳しくなってきます。今年もインフルエンザの大流行が話題に上がっておりますので、風邪などに負けぬよう、体調管理に十分配慮をお願いします。洋友会地区ニュースも本年最後の発行となります。本年のご協力に感謝するとともに来年もよろしくお願いいたします。

会員の動き

新規入会者

会員数:55名(12月1日現在)

やまぐち まさよし さん 9月入会 (最終職場:津名エレクトロニカ(株))
山口 正義

(本人コメント):入会後は、現役時代にお世話になった恩返しのためにも、行事への積極的な参加をさせていただきます。退職後は毎日が日曜日の生活パターン造りに取り組んでいます。今後は私のモットー”早思即動と信頼”で微力ながら本会の発展にお役に立ちたいと考えています。

ひらの しげき さん 10月入会 (最終職場:三洋エナジー東浦(株))
平野 茂樹

(本人コメント):年が明けたら、34年間住み慣れた洲本を離れ京都に帰りますが、洋友会洲本に籍を置き、しっかり体づくりをして積極的に行事に参加させていただきます。ただ、10月に行事初参加予定のゴルフコンペは腰痛で欠席せざるを得なくなり、スタートからつまずきましたが、今後は体調を整え上位を狙って行きます。

いとう つかさ さん 12月入会 (最終職場:ソフエナ・経営企画室)
伊藤 東

ご逝去

藤井 昭三 さん 8月18日亡くなりました。享年73歳。

朝日新聞・淡路版の記事を紹介し、ご冥福をお祈りしたいと存じます。

撮影三十数年 こだわりの人 惜しむ写真仲間 野鳥を追った藤井さん逝く

とにかく『こだわりの人』だった。これぞっと目をつければ、一週間でも半月でもカメラを下げてバイクに乗り、山へ、海岸へ、川へと通った。狙いは野鳥の撮影。諭鶴羽山系を中心に、三十数年間に100種以上をモノにした。ときには、公民館などで展覧会を開いて自作を世に問うたが、夢は『淡路島の野鳥』なる本を出版することだった。だが志半ばにして、73歳で逝った。

1. 平成15年度 洋友会洲本地区総会日程

平成15年度 洋友会洲本地区総会を 平成15年4月18日(金曜日) に行なう予定で準備を進めています。間じかになってから、正式なご案内を申し上げますが、今から予定に入れていただき、万障お繰り合わせの上、ご出席賜りたくお願い申し上げます。

平成15年度 洋友会洲本地区総会(予定)

日時: 平成15年4月18日(金曜日)

場所: 三洋電機 保養所 淡路浦荘

2. ソーラーク見学会記

投稿者:匿名希望

それはデカかった。新幹線の窓から見たソーラーク、あの岐阜事業所の建物とほぼ同じ幅がある。全長315m、東京タワーを横にした長さだそうだ。ソリ上がった形なので、両端部が高くなっており、その高さは37m。総重量3000t。すごい。この表面に取り付けられた太陽電池の面積は約7500㎡。これで最大630キロワットを発電。一般家庭約200軒分の電力。その中心部に設けられた『太陽電池科学館』ソーラボで、童心に帰って体験学習。太陽までの距離を実感するサイクリングで息切れしたり、太陽電池で動くソーラロボに見入ったり。1/3の大きさではあったが、『たんぽぽ号』のモデルには、昔携わった思い出話に花も咲いた。

一人が質問をすると、案内嬢の言葉をさえぎるように、突然”自称識者”が現れ(しかも一人でなく数人も)、自己流の回答がいく通りも出てくる。つつい在职時の姿にもどるのが洋友会メンバーらしい。案内嬢にも技術説明者にもキツイ質問の連続でした。

時間節約のため駅弁で昼食を済ませ、帰りは、新大阪から少し戻り、吹田のアサヒビールへ。やさしく説明をしてもらいながら、案内嬢におとなしく従っていたが、缶にビールが詰められる工程に來ると、電池外装缶挿入工程が頭に浮かぶのか見学通路のガラス(?)板に顔を押し付けて、”蓋はどこから来るんや?”、”ビールは装置の下から供給されてるのか?”など仲間内で質疑応答。こんなOBの血が騒ぐ面々に、『こんなうるさいグループはイヤでしょ!』との質問にも”とてもお元気ですネ”とにこやかに対応。さすがプロの案内嬢は違う。可愛くて頭脳明晰な案内嬢のお勧めで、つついお土産をたくさん買ってしまった、これも企業戦略。

試飲コーナーでは、『ビールはどうも苦手で』とおっしゃってた方も大きめのグラスを四杯もしっかり空けられたのを見逃しませんでした。あれやこれやで堅い知識とやわらかい知識の二刀流吸収の一日でした。 9月19日、14名参加。

3. カニツアー泊旅行に参加して

(11月28・29日)

昼食前にSEC鳥取を見学させていただくため、出発はまだ暗い六時でしたが、山陰地方では珍しい、二日続きの良い天気恵まれ、われら17名、満足な二日間でした。

今回参加の17名中16名がメール通信可能者であったため、事前連絡はもっぱらメール。お陰で出発一週間前から、世話役さんから、事細かな連絡が毎日入る。迷惑至極(失礼)バスは中型のため空席も少なく、和気合い合いの雰囲気。明石大橋を越えた頃から、クイズ開始。明石海峡大橋の建設にまつわる話や、洲本の三熊山は”熊”と付く三つの山の総称、童謡カラスの子は七羽か七歳か、とか。何処かで聞いた話だが、あらためて問われると、ウムとつまずく。11時前にSEC鳥取到着。百々社長以下皆さんの暖かい出迎え・案内を受ける。工程改善や安全対策など、工程で熟弁の説明を聞く。工程各所で努力の跡が伺え頭が下がる。取分け清潔さが目立った。記念撮影までしていただき、工場を後に。その後、岩井温泉・かんぼの宿にて昼食と入浴。温泉気分を十分味わってから、いよいよカニの待つ民宿へ。夕食の卓に出るわ出るわ。ひらめの生きつくり。エンガワはすぐなくなる、おいしいものは皆さんよくご存知。宝楽焼きの焼きカニの味がまたよろしい。あまりの量に、カニすき用の実皆さんの足がずいぶん残ってしまい、勿体無いことをしてしまった。

翌朝、テレビ”まんてん”の放送後まで、時間を遅らす細かな配慮をして宿を出発し、玄武洞へ。何度も来た人は居たが、5つの洞を全部回ったのは初めてだという人も多く、他の観光客との談笑も楽しみながらのひと時を過ごす。次は”そば”で有名な出石に向う。昼食後、但東町にある日本モンゴル民族博物館に向う。なんでこんなところでモンゴルやネとの問いかけに、”こちらに詳しく書かれています”と受付に言われ、そのパンフレットを学習。但馬ちりめんの本場という、織物の産地にちなみ推進した活動が大きく花開いた結果のようでモンゴル出身の”朝青龍”の優勝もあり、皆さん良く勉強していました。

見学はすべて終了、あとは淡路に向かう車中でのビンゴゲーム。ビンゴゲームは有志提供の品を景品にして挑戦。”リーチ”までは早かったが、ビンゴなかなか出ず。球出し係りの老眼が予想外の時間を浪費し、参加者イライラ。幹事が先に当り感じ悪。大半の方が賞品を手喜び顔で終る。持ち帰り用大型紙袋まで、サービス。なんやかやと騒いでる間に淡路に到着。幹事さん、本当にご苦労さまでした。

4. 各クラブ活動紹介

各クラブの世話人から、一言いただきました。

家庭菜園クラブ 世話人:近藤 弘さん

クラブをスタートしてから3年が経ちました。クラブ員のみなさんには、楽しく活発に取り組んで頂いております。給水設備などの設備も充実して参りました。3年の経過と設備の充実、またお互いの情報交換もあって皆さんの技術は飛躍的に上達して来た様に思います。

この秋には菜園愛好者の皆さんも参加して頂き、第2回目の収穫祭を行いました。ほとんどの参加者が、奥様同伴でのバーベキューとなり、それはそれはにぎやかなパーティーとなりました。勿論、主材は自家製野菜です。女性軍のおしゃべりに耳を傾けながら、健康で楽しい秋の一時を過ごすことが出来ました。次の機会にはもっと多くの洋友会会員(非クラブ員)の参加を期待しています。

ウォーキングクラブ 世話人:青海弘嗣さん

今年も初行事は先山登山でした。1月8日、13名の参加で実行。下内膳から歩いてスタートし各自、昨年に比べ体力の衰えが思ったより少なく、自信の笑みを浮かべ、頂上の千光寺に参拝。続いてお楽しみの、茶店での新年会です。注文できるのは、ビール・お酒・でんがく・うどんだけですが、何処からか、焼酎・おつまみ、さらにポットのお湯まで出てきて、派手やかな宴となりました。やっとの思いで登った人(誰のこと?)も含め、全員盛り上がった一日でした。

2月には、観梅で三熊山へ。飲みすぎて、歩いて帰れなくなった人は反省しましょう。

島外登山は、10月に、日帰りで四国剣山へ。8名参加で、これは2年連続行事となりました。登りは全員リフトを利用で、先山より楽に登れます。頂上でのお弁当の時間は、お酒もほどほど(?)に入り、居合わせた四国のご夫婦も加わり、最高に盛り上がりました。紅葉はどうでした? 紅葉よりおちやけの面々でした。下山後ふもとの温泉でリフレッシュ。

つりクラブ 世話人:金谷経一さん

世の中、技術革新だ、構造改革だと、変化を求められています、魚つりはのんびりと、”釣れますか太閤さん”の世界で、古き良き時代を変わることなく受け継いでいます。

本年度の活動は2回。3月に津名港でアサリ採り。大粒のアサリとカキをバケツ一杯に。

9月には、由良港でサビキ釣り。アジとイワシが爆釣りモードに。リクエストは沢山あったのに結果的には活動が少なく終わり反省しています。 来年は新しいメンバーにドンドン入ってもらって、もっと楽しみましょう!

ゴルフクラブ 世話人:原下正信さん

今年度も順調に部員が増え、11月現在22名の大所帯となり、部員一同益々張り切って活動しています。今年度のコンペ開催実績は現在まで6回。11月8日には新装になった洲本ゴルフ倶楽部で第14回のコンペを実施しましたが、みなさんイマイチの成績(失礼!)で、再度12月13日に再挑戦する事になりました。最近、馬投票券も発行し当選者には甘い汁も吸って頂いたり、プレイヤーにはペナルティー制を設け、毎回の罰金を集めて年一回程度の親睦会なども考えています。和気あいあいの楽しいクラブです、新規会員大歓迎。

最近のコンペ成績

11月8日	洲本ゴルフ倶楽部	優勝:阿部一三さん
9月27日	四国カントリークラブ	優勝:松下敏信さん
7月27日	鳴門カントリークラブ	優勝:田村 毅さん

健康クラブ 世話人:山口喜代松さん

カイポイモや紫イモ、にが瓜などの健康食品の食べ方などの説明と ともに、〇〇の植え付けの時期の説明や、〇〇の苗が入荷したとかの情報も流し健康食品栽培にもアドバイス出来たと考えています。さらに料理方法も紹介することで、クラブ員の皆さんも非常に意欲的に活動してもらいました。今後のクラブ拡大策として、クラブ員への健康食品などの説明だけではなく、この地区ニュースの誌面もお借りして健康に役立つ食物の紹介やハリ灸などの話題も流して行きたいと考えています。関心のある方ぜひご一報下さい。

パソコンクラブ 世話人:広瀬 収さん

毎月第三木曜日の午後一時から、カドニカホールの2階研修室をお借りして開講しています。基本的にはエクセルを学んでいますが、リクエストでいろんなことにもお応えしており、最近ではデジカメ画像の取り込みなども勉強しました。講師も勉強しながらの指導ですので、要望があればどの方向の内容にでも自由に方向変換が出来る所がメリットです。質問を受けながらの進行ですので、誰よりも講師が一番勉強することになっており、スタートの頃より格段の進歩をしたのは講師です。目標を持って参加される生徒さんは進歩が早いですが、そうでない方は、行ったり来たり of 繰り返しが多く、楽しい時間のみが過ぎ去るようです。

生徒さん個人の技量に合わせた進め方に心がけていますので、パソコンに自信のない方でもぜひ教室を覗いて下さい。会場常設のノートパソコンも数台ありますのでお試しください。

来年は表計算や検索などに便利な”関数”に挑戦して行きます。メールのみお使いの方には無用の長物ですが、町内会業務や家計簿などにパソコンを使ってみようとお考えの方には強い味方ですので、ぜひ挑戦下さい。また、会場に來られない遠方の方にはメール講座も可能です。何事にも前向きに、粘り強く、元氣良くやりましょう！

新しいクラブも検討中です！

会員数が増えて、世話役をお願い出来る方も多くなってきました。

園芸クラブ(仮称)を吉井 譲さん(退職後、専門的に勉強されています)に、

囲碁将棋クラブを山口 正義さん、伊藤 東さん(皆さんよくご存知の二大巨頭)に、

お願いしています。来年四月に発足出来るように、それまでを準備期間として内容の検討を進めていきます。興味のある方、腕を上げたい方、ぜひ参加下さい。

5. その他

去る10月26・27日に恒例となった洲本市『図書館市民まつり』が行なわれました。

おはなし会やスタンプラリー、鼓笛演奏・ジャズ演奏など多彩な催しが行なわれ、おおぜいの方で賑わいました。このお祭りに、図書館中庭への机の設置・撤収、来場者の自転車の整理に、洋友会洲本地区の有志でボランティア活動を、昨年に続き行い、関係者から、ねぎらいの労の言葉をいただきました。

年が明けると、確定申告の季節です。

新しく入会された方で、記載に自信のない方に毎年アドバイスをを行なっています。

年度途中まで頂いた給与内容証明書や生命保険・損害保険の支払い証明書などを取り揃えて出席していただき、先輩諸氏のアドバイスのもと、申告書に下書きをしていただきます。国税局のホームページ <http://www.nta.go.jp> を参考にされるのも良い方法です。

ご希望の方は、広瀬まで連絡下さい。

【編集後記】

この地区ニュース作成・編集をお手伝いしていただける方を求めています。

あまりむつかしく考えず、気軽に申し出て下さい。

また、記載する内容を、会員の皆さんから広く募集しています。情報をお持ちの方はぜひ紹介して下さい。淡路出身でない方が増えてきており、淡路の昔の姿の紹介なども関心を持たれる記事だと思います。洲本川の堤防に桜が咲いていたことや、会社の裏に電車が走っており、社員の通勤に使われていたことなど、今の会社周辺から想像できない風情などをぜひ紹介して行きたいと考えています。協力いただける方は情報提供下さい。文章にする労は広報委員が引き受けます。

お気軽にFAXください。

FAX: 0799-22-6811 萩野
0799-22-8868 広瀬

0799-22-4881 原下
(広報担当:萩野・原下・広瀬)